

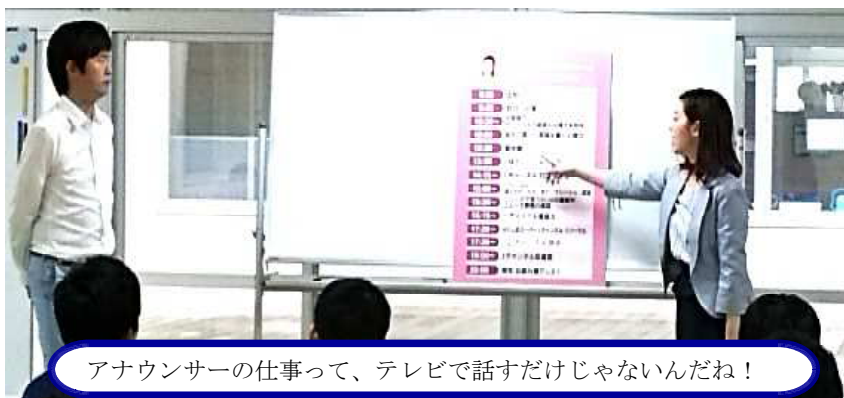


第 8 号

輝け、大越っ子

《かしこく・やさしく・たくましく》 発行 日 平成 30 年 7 月 2 日
発行責任者 校長 根内 喜代重

アナウンサー体験教室！ ～相手に伝えることの大切さ～



アナウンサーの仕事って、テレビで話すだけじゃないんだね！

じゃない。練習で変わるものだ。今日はその一歩にしよう。」という言葉に、子どもたちも意欲的に学ぶことができました。飯田アナからアドバイスをいただき、「みんなの前で言うのが恥ずかしくて、なかなか言い出せなかったけれど、飯田さんの一言で勇気を持つことができました。」と感想を書いている児童もいました。

また、アナウンサーの一日の仕事内容を教えてい



決まず、結論から話すことですね！

6 月 15 日（金）、表現力を育成する一環として、5，6 年生を対象に開催しました。講師として、KFB（福島放送）のアナウンサーである池田速人さんと飯田麻菜美さんにご来校いただき、腹式呼吸の方法や発声練習のポイント、滑舌練習などを行いました。

池田アナからの「得意不得意



腹式呼吸はここが大切だよ！

ただいたり、自己PRのしかたや内容について一人一人コメントをいただいたことは、表現力の育成とともに、自分のこれからの生活や将来の目標を考えるキャリア教育の一環ともなりました。

今回は、7月10日（火）には、FCT（福島中央テレビ）のアナウンサーを講師に迎えて3，4年生を対象に実施する予定です。

子どもたちの感想から
抜粋）
アナウンサーの仕事
は声を通して伝えること
だけだと思っていたの
に、原稿も自分で考える
なんて驚きました。」
私たちが見ていない
ところでも、たくさん頑
張っているのがすごいと
思いました。」
池田さんが、大切
なのは自分を知らない人
に対して、どう自分とい
うものを知ってもらうか
だよ。」と話されたとき、
心がドキッとなりました。
しっかりと自分というも
のを伝えられるように、
結論から始まり、次に理
由を言うことを大切にし
たいです。」
発声のしかたなどを
教えていただき、合唱の
発声にも使えるなと思い
ました。ありがとうございました。」

つなぐ教育の推進！ ～ 大越のこども園・小学校・中学校 ～

《第1回 幼・小連携交流会》

6月20日（水）、大越こども園の年長児（5歳児）が本校を訪れ、体育館で1年生と交流活動を行いました。お互いにあいさつをした後、「じゃんけん列車」や「ボール運び競走」などを楽しみました。



みんな仲良く「じゃんけん列車」です！



5歳児のみなさんもいい姿勢です！

幼小混合チームでの活動でしたが、1年生が園児をリードしながら、思い出に残る充実した活動になりました。このような活動を通して、心身ともにスムーズな小学校入学と学校生活につなげていきたいと思います。

《小・中連携授業研究会》

6月19日（火）、福島大学人間発達文化学類 教授 森本 明先生の指導による算数科「小数のわり算」の授業を大越小・中学校の教員24名が参観し、授業改善等について研修しました。「児童が自分なりにわかり方を追究していく学習」や「学力を高めるとともに、人間として育てることの大切さ」などについても話し合われました。子どもたちも森本先生の問いをしっかりと受け止め、深く考えながら友だちと学び合うことが



意欲的に授業に臨む5年生！



ができました。森本先生からは、本校教員の日常指導の積み重ねに対して称賛をいただきました。さらなる授業力向上に努めてまいります。

えっ、なるほど、そうなのか！ ～現地で学ぶ教育～

《大越浄水場、大滝根環境センター 4年生》

6月21日（木）、水道水浄水や下水処理の方法とともに、働く人の努力や願いについて学習しました。「水はどこを流れて家まで来るの？」、「水から取った汚れはどうするの？」などの質問について丁寧に説明いただき、とても充実した見学学習になりました。



熱心にメモです！



微生物の力って、すごいんだね。

《郡山駅、スペースパーク 2年生》6月22日（金）

新幹線ホームの見学では、時速320kmで通過する速さにとても驚いていました。スペースパークでは、宇宙体感シミュレータやムーンジャンプを体験したり、うきうきボールを作ったりしました。帰りは自分で切符を買って電車に乗りました。楽しく貴重な体験学習となりました。



駅員さんの説明に興味津々です。

すごいね、ロボットのあざらしだよ。